



わが家のアイドル

吉佐美にお住まいの
進士 高広さん・亜衣さんの

あおと
長男 碧斗くん(1歳)

笑顔の可愛い甘えん坊。
なんでもよく噛む良い子(?)です。
優しい野々香ねえねと
毎日楽しく過ごしています。

みなさんのお宅のアイドルの写真を募集しております。市役所総務課へどしどしお寄せください。



下田市はあいさつ運動実践中

あいさつは にっこりえがおで 心から



下田の大地を巡る旅

「伊豆半島ジオパーク」

Vol.5

県天然記念物「斜交層理」

弁天島は地質学的にも高い価値を持っています。弁天島は、海底でたまった地層が地殻変動で隆起し、地表に現れた後、それが波で削られ、現在の形となりました。

島周辺の散策で目に入るのが、道路沿いの崖にある美しい縞模様の地層です。この地層は、数百万年前に海底火山から噴出した火山灰が、波や海流によって運ばれてきたものであり、斜めに交差する様子から「斜交層理」と呼ばれています。弁天島を含めたこの周辺は、見事な斜交層理がみられ、静岡県の天然記念物にも指定されています。なお、天然記念物としての名称は「偽層理」。現在は斜交層理という言い方が一般的です。

市内柿崎にある弁天島。幕末の志士・吉田松陰が海外事情を学ぶため、鎖国の禁を犯してまで黒船乗船を企てた舞台として、全国的に知られています。1854年、ペリー黒船艦隊の跡を追い、弟子の金子重輔とともに下田を訪れた松陰は、この島の祠に身を隠し、夜中、島の浜辺から、小舟を漕ぎ出すのです。この試みはアメリカ側に容れられず、失敗に終わりますが、当時の様子は、島内にある案内板や松陰像から窺い知ることができま。また下田港内では、黒船をデザインした遊覧船も運航され、船上から島の外観を楽しむこともできます。

弁天島の斜交層理は、道路側から向かって、左上から右下に傾く縞模様が多く、左から右方向への海流が流れる、浅い海で地層ができたことを表しています。

生痕化石

弁天島の地層が海で生まれたことは、他の方法でも発見できます。それは地層のなかに貝やフジツボといった海の生物の化石が発見できるためです。ほとんどの化石は砕けてしまっていますが、よく観察すると、貝の形をした化石を見つけることもできます。また、海の生物が海底を這いまわったあとが地層の中に残されていて、当時の生物の活動の様子を知ることができます。弁天島では、生物が海底を這いまわった溝に、砂や泥がたまってきた生痕化石を観察することができま。

アクセス



下田駅より須崎行バスで5分
柿崎神社前バス停下車 徒歩5分

問合せ先
観光交流課観光戦略係

☎ 223913



「広報しもだ」は再生紙を使用しています

広報しもだ 2011.9月号

下田市ホームページ <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>